

【2002年3月期 決算説明会資料】

日本テレビ放送網株式会社

< 連結の状況 >

* 連結子会社 12社 * 持分法適用非連結子会社 4社 * 持分法適用関連会社 17社

< 連結上の変動 >

* 3社が社名変更

- ・(株)ビーバット企画 (株)ビーバット
- ・(株)フンテン企画 (株)プラットフォーム
- ・(株)ムゼオ・ダルテ・ジブリ (株)マンマユー ト団

* 持分法摘要会社の変動

- 新規 2社 (株)ビーエス日本 (出資比率 10.1% 18.1%)
アジア・ワン (株) (新規取得 出資比率 50.0%)
- 除外 1社 (株)ビデオウイング (日本テレビビデオ 25.5%出資 売却)

< 連結決算概要 >

(単位 百万円)

	前期 (平成12年度)	当期 (平成13年度)	前期比	(%)
売上高	352,409	358,682	6,273	1.8
売上原価	207,743	218,888	11,145	5.4
販売費及び一般管理費	77,362	76,220	1,142	1.5
営業利益	67,302	63,573	3,729	5.5
経常利益	68,089	62,662	5,427	8.0
特別利益	83	352	269	
特別損失	4,250	647	3,602	
当期純利益	36,008	34,648	1,360	3.8

(主な内容)

- * 売上高
 - ・NTVは微減。
 - 制作 3社 (映像センター、エンタープライズ、日本テレビビデオ)は増収増益。
 - ・バップがレコード部門 (マスターチルドレンのベストアルバム)、ビデオ部門 (レパン三世)で大変好調であった。
 - ・フォアキャストコミュニケーションが単年度黒字となり 累損も3期目で一掃。
- * 売上原価
 - ・NTVは微増。
 - ・主たる要因は売上増に伴う費用増。
- * 販売費及び一般管理費
 - ・NTVの減額が主たる要因。
- * 特別利益
 - ・NTVの投資有価証券売却益
- * 特別損失
 - ・NTVの投資有価証券評価損

< 単体決算概要 >

(単位 百万円)

	前期 (平成12年度)	当期 (平成13年度)	前期比	(%)
営業収益	313,595	311,304	2,291	0.7
放送収入	291,483	287,383	4,099	1.4
タイム	155,920	159,350	3,429	2.2
スポット	135,562	128,033	7,529	5.6
番組販売収入	12,290	10,051	2,238	18.2
その他収入	9,821	13,868	4,047	41.2
営業費用	250,401	253,797	3,395	1.4
放送費及びその他事業費	178,940	183,797	4,856	2.7
販売費及び一般管理費	71,461	70,000	1,460	2.0
営業利益	63,194	57,506	5,687	9.0
経常利益	63,983	58,374	5,608	8.8
特別利益	113	280	167	
特別損失	3,709	1,697	2,012	
当期純利益	34,115	32,278	1,836	5.4

(主な内容)

- * タイム収入
 - ・今期から特別ネット料をタイム収入に含めて表示している。
 - ・前期は番組販売収入に含めて表示しているため、同じレベルで比較すると実質的には0.5%の増。
 - ・増加の要因はスポットからタイムへの売枠変更、カロリーアップ等。
- * スポット収入
 - ・前期はプロ野球日本シリーズ、シドニー五輪等の大型単発番組があった。
 - ・スタート当初は好調であったが、8月以降は景気の後退の影響が出始め、前年比でマイナスを続けた。3月は12,261百万円(前年比91.4%)
 - ・酒類・飲料、金融・保険、自動車については出稿増となった。
- * 番組販売収入
 - ・前期の数字から特別ネット料を差し引いた同じレベルでの比較では、7.8%の増額となる。
- * その他収入
 - ・増収の要因は事業収入。出資映画「千と千尋の神隠し」が大ヒットした事による配給収入、BS日本からの受託制作収入が主たる要因。
- * 放送費及びその他事業費
 - ・番組制作費の増
 - ・改編率が高かった。米国テロ事件等によるニュース制作費の増。
 - ・音楽放送権の増。等々
 - ・事業費の増
 - ・出資映画に関する費用の増。BS放送からの受託制作費の増。
 - ・出版物制作費。等々
- * 販売費及び一般管理費
 - ・売上減による代理店手数料の減少等。
- * 特別利益
 - ・土地売却益、投資有価証券売却益等。
- * 特別損失
 - ・投資有価証券評価損及び売却損